

とうじんきょうの秋

Tojinkyo

SSKA

秋

No.204・2014 10.15

おもな記事

特集／2015年度都庁予算要請への回答…………… 1
 「災害時にパニックにならないために」(東海病院の災害対策) …… 5
 とうじんきょう 活動のまど…………… 12
 投稿「私と東腎協」⑤⑥…………… 16



特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
(NPO 東腎協)



2014年7月6日(日)

大森東急インフォレストルーム

東腎協第4回大会祝賀会



目次

2014号

特集 2015 都庁予算要請回答 … 1

災害時にパニックにならないために
東海病院の災害対策 (概略) … 4

都議会ヒアリング議事録 … 8

リレーエッセイ … 9

なかまのたより … 10

活動のまど … 12

200号記念投稿 私と東腎協 高橋あつ子…15
蒲原栄子…16

年賀広告募集のお知らせ ……21

透析バンザイ ……17

事務局から・編集後記 ……22

事務局雑感・表紙のことば ……24

表2 東腎協第4回大会祝賀会

表3 臓器移植キャンペーンで配ったパンフ

2015年度●東腎協 都庁予算要請 への回答

2015年度都庁予算要請は、8月19日(火) 都庁第一庁舎会議室で行われ、東腎協から藤田会長、戸倉副会長、梅原副会長、岸里事務局長、榎原、斉藤、板橋各理事が出席した。
東京都からは産業労働局、医療政策部、障害者施策推進部、保健政策部医療助成課・疾病対策課の担当者が対応した。

腎臓病の研究、予防、治療から社会復帰まで含めた腎疾患総合対策の確立のため以下の項目を要請致します。

各種医療費助成制度等の維持継続について

要請事項① 心身障害者(児)医療費助成制度(障)・難病医療費等助成制度(都)・心身障害者福祉手当制度を国の動向にかかわらず堅持継続して下さい。

保健政策部 回答

現行の制度を継続していきます。また、本年5月に難病患者に関する新たな法案が成立し、27年1月から新たな医療費助成制度が実施される予定です。

要請事項② 心身障害者(児)医療費助成制度、心身障害者福祉手当制度は、新規適用は65歳未満となっておりますが、新規65歳以上で低所得の障害者を対象にするか、または救済する施策を検討して下さい。

医療助成課 回答

この制度は基本的に国の役割であり、都は年金手当を一層充実すべきと、他の自治体とも連携して国に要望しております。今後とも東京都の役割である就労支援やグループホーム、日常活動の場など障害者の施策の充実に努めて参ります。

CKD(慢性腎臓病)への取り組み推進について

要請項目③ 「新たな国民病」としてのCKDの予防に関し、東京都医師会などの協力を得て、かかりつけ医と腎臓専門医との連携強化のため、情報共有化のシステム作りを推進して下さい。

保健政策部疾病対策課 回答

東京都では慢性腎臓病対策として、平成23、4年度に地域のかかりつけ医を対象に、二次保健医療圏ごとに慢性腎臓病CKD研修を実施して参りました。今年度も、CKD研修の実施や患者向けリーフレットの配布など、慢性腎臓病患者の早期発見・早期治療の推進

に努めて参ります。

要請項目④ 糖尿病性腎症からの透析患者を増やさない等の対策を講じてください。糖尿病の登録医療機関としてのツールの運営状況について教えて下さい。

医療政策部 回答

東京都では都内の糖尿病の現状を把握するために、アウトカム指標と致しまして、糖尿病腎症による新規透析導入率を掲げて、年度ごとの新規透析導入率の把握に努めております。また、糖尿病地域連携の登録医療機関制度として医療機関の登録手続きを進めており(平成25年度末約1200医療機



東京都に予算請求する東腎協役員

関)、今月中に東京都のホームページで公表する予定です。

要請項目⑤ 「腎臓病を考える都民の集い」に関し出席者の多くは、東京都の広報が効果的であったと言っています。今後は医療関係者等へ広がる広報活動もお願いします。また、東京都の施設を会場として使用を継続させて下さい。

保健政策部献血移植対策課 回答

東京都は毎年、東腎協と協定書を結びまして、役割分担を定めて実施をしています。会場の準備や講演会の実施については東腎協、東京都は広報やホームページに内容の記載、ご案内をする、あるいは区市町村にポスターを配布するなどして役割分担を致しております。今年度は都庁舎内大会議場を、平成27年3月15日の日曜日に予約をとっております。今後も出来る限りご協力をさせていただきたいと考えております。

腎臓病患者の 救急医療について

要請項目⑥ 慢性腎臓病（CKD）に起因する心血管系疾患や人工透析患者の心筋梗塞や脳血管系疾患等の病状急変に備えて人工透析可能な救急医療体制の整備と強化を行うして下さい。

福保局医療政策部 回答

都では、救急患者が病状にに応じた適切な救急医療を迅速に受けることが出来るよう、区市町村と役割分担のもと、初期（東京都）、二次、三次（区市町村）の救急医療体制の整備を迅速的に進めております。引き続き、東京都医師会や東京消防庁との連携のもと、透析患者をはじめとする救急患者の迅速、適切な受け入れ態勢を確保する考えです。

透析医療の安全について

要請項目⑦ 患者本位の医療を目指し、透析医療スタッフの充実、透析医療ミスや医療事故防止と感染症対策の行政指導を強化して下さい。

福保局医療政策部 回答

都は病院に対して、医療法の遵守および医療安全管理体制の整備について、定期的な立ち入り検査で助言、指導を行い、医療安全対策の充実を図っております。感染防止対策につきましては、重点検査項目を設けて指導、強化をしております。引き続き透析医療での安全確保、および感染予防対策につきまして、医療法に基づく立ち入り検査を行い適切な指導を行って参ります。

要介護透析患者への 支援強化について

要請項目⑧ 国の一般病床特定除外制度廃止により、高齢の透析患者の長期入院の受け皿が不足しています。療養病床確保のため、東京都が進める療養病床増床計画を引き続き推進して下さい。

福保局医療政策部 回答

都はこれまで、改築、改修経費の負担軽減策として、平成22年より東京都独自に改修整備補助を行うとともに、医療療養病床へ転換後の経営上の不安解消策として、



東京都に予算請求する東腎協役員

経営コンサルティングの専門家による支援を実施しています。今後とも都独自の整備費補助や経営面からの支援などを通じて、必要な病床数を引き続き確保して参ります。

要請項目⑨ 高齢化や合併症により要介護透析者の通院支援の必要性が高まっています。要件絞り込みや公平性維持の点で難しいとの指摘がありますが、移送業者参入に向けた対策及び病院、移送業者、患者並びに行政の連携による対策は考慮して下さい。

保健政策部疾病対策課 回答

通院送迎対策の実施につきましては、サービスの対象者や要件を絞り込む事、また難病以外の疾患との公平性の観点から困難であり、

現在のところ、東京都の制度として実施することは考えていません。なお、身体障害者手帳を所有する方につきましては、介護人も含め、JR等の鉄道、カーフェリー、航空機の運賃割引制度をご活用頂ければと考えております。

臓器移植推進と再生医療について

要請項目⑩ 東京都に共催名義の使用承認を受け、毎年開催している「臓器移植普及推進キャンペーン」の予算化をして下さい。

保健政策部疾病対策課 回答

東京都は、毎年10月の臓器移植普及推進月に、臓器提供意思表示カードやリーフレットとの一体型の意思表示カードを配布しております。また東腎協との共催で、「臓器移植普及推進キャンペーン」を実施するとともに、都内全戸に配布される「広報東京都」あるいは、東京都のホームページに提供意思表示カードと紹介記事を掲載しております。今後も引き続き、日本臓器移植ネットワーク

や東腎協と連携を図りながら、普及啓発に努めて参りたいと考えております。

災害対策の強化について

要請項目⑪ 要援護者である透析患者に対する災害時透析医療を始めとする総体的災害対策の構築、強化をして下さい。

医療政策部 回答

東京都では災害時の透析医療の確保について、透析医療機関における平常時の準備や、透析の継続が困難な場合の患者の受け入れ方法について、「災害時における透析医療活動マニュアル」を作成し、迅速かつ適正な透析活動の確保を進めています。

さらに東日本大震災の被災地の緊急透析の経験を踏まえて、日本透析医学会災害時情報ネットワーク等の関係機関と協議の上必要な見直しを行い、マニュアルを改訂し、すべての透析医療機関に配布いたしました。

要請項目⑫ 災害時の被害想

定から透析患者の長期滞在施設の確保、5000人が透析難民となると言われている事への対策等、他県とのネットワークを進めて下さい。

医療政策部 回答

災害時において、どの医療機関が透析可能か震源地の問題等、今の段階で予測が難しい。被災地に近いところで、なるべく自宅に居ながら安全な施設があればそこで透析を受けてもらう。宿泊施設については近隣各県と相談しながら対応していきます。

就労支援について

要請項目⑬ 内部障害者、難病患者、長期慢性疾患患者、小児慢性疾患患者が通所出来る就労支援機関を公共交通機関の便利な23区内に設置して下さい。

自立生活支援課就労支援係 回答

東京都では、区市町村を実施主体として、障害者就労支援センターの設置を促進しており、平成26年4月時点では49区市町に設置を

されており、今後とも未設置区市に積極的に働きかけて行きます。

難病患者への就労相談につきましては、東京都難病相談センターにおいて対応し、国においては、渋谷ハローワークに難病相談支援センターを設置して、難病患者就職サポートが毎月第3金曜日に相談に乗っています。

要請項目⑭ 透析患者をはじめ内部障害者の社会参加に向けて、雇用環境整備の確保を継続・推進して下さい。

産業労働局 回答

腎機能障害の方をはじめ内部障害の方々については、雇用管理上の配慮事項として、勤務時間等の配慮が必要なことから、産業労働局では、雇用上の配慮事項や障害者の雇用制度、支援機関等を紹介した、事業主向けの「障害者雇用促進ハンドブック」を作成して、障害者雇用の普及啓発のため、ハローワーク、区市町村、就労支援機関、企業等へ配布して参ります。また、企業向け普及啓発セミナーなどの機会を通じて、雇用環境整備の重要性を理解して頂くよう努めて参ります。

災害時にパニックにならないうために

東海病院の 災害対策 (概略)

腎臓病は「透析」し続けることによって生活が出来る病気です。

したがって、災害発生時でも継続的に「透析」が行えるという状況を自分の中に確認することがパニックにならないために必要です。

災害時透析医療の拠点病院となっている東海病院は、患者会（ひまわり会）の要請により、患者の安全、医療の確保、医療インフラ

等について以下のように取り組んでいますのでご紹介します。

災害発生時の状況を

見極める

○自分のいる場所を知り、行動を決めます。

病院にいて透析を受ける準備中、透析中、透析終了の際に被災した場合

①病院の災害マニュアルに従い、冷静に行動する。

②病院から自宅に勝手に戻らず、病院が行政と被害状況の確認を行い、次回の「透析」の説明を受けるまで病院の指示した場所で待機する。

*災害状況によっては「徒歩」以外自宅へ戻れず、介護人や自動車の送迎は困難になる可能性があります。

自宅内にて被災した場合

①自宅及び自宅周辺の状況を確認する

②自宅での生活が可能であるようであれば

(1) 東海病院の状況を災害ダイヤル(171)で確認する。

(2) 自分の通院手段について確認する。

(3) 患者会ネットワークあるいは患者同士の連絡網を活用する

③避難所にて生活せざるを得ない状況であれば、

(1) 人工透析者緊急カード、身体障害者手帳、保険証一式を持参する。

(2) 避難所に派遣される医師に、透析が必要な旨を申告して指示を仰ぐ。

(3) 医師の確認ができない場合は区の職員に相談し、また災害ダイヤル(171)を用

1 透析中に災害が起きた時の心得及び、当院の設備について

東海病院 防災委員会
2014年9月14日

2 はじめに

- 都は東日本大震災を踏まえ、平成18年5月に公表した「首都直下地震による東京の被害想定」を全面的に見直すこととし、東京都防災会議の地震部会において検討を進めた。
- 被災想定は大幅に上方修正され、練馬区においても多大な被害をもたらすものとなった。
- 当院における地震発生時の行動指針、患者様用パンフレット、院内勉強会用資料より、いくつか抜粋して説明します。

3 想定：東京湾北部地震M7.3

- 震源の深さ：地下30~50Km
- 発生時刻：冬の夕方18時、風速15m/s
- 停電：区部東部中心に30~40%
- ガス：9区で供給停止、中央区など6区で50%以上
- 上水道断水：すべてで発生
- 下水道被害：全区市町村で被害
- 復旧日数：電気6日、通信14日、上・下水道30日、ガス53日

7

一時避難場所への避難(1)

病院長の判断により

- ✓ 透析室にて待機
- ✓ 一時避難場所へ避難

のいずれかの指示が出ます

針を抜いたらすぐ避難とは限りません
余震の規模や院内外の状況によっては、しばらく透析室にて待機の指示もあり得ます
一時避難場所へ避難の場合もスタッフの指示に従って避難して下さい



一時避難場所は
中村北公園です

4

透析中に強い揺れを感じたら

- ✓ 布団を頭まで掛けて下さい
- ✓ 回路をしっかり握って下さい
- ✓ 動かないで下さい

普段布団を使わない方も、足元に布団を置いておきましょう



日本の地震観測史上最も揺れている時間の長い地震は2003年の十勝沖地震です。それでも揺れていたのはたったの1分です。

8

一時避難場所への避難(2)

- ✓ 1人で歩いて避難できる方
案内係の指示に従って西階段～裏口から避難します
- ✓ 介助者がいれば避難できる方
スタッフが介助して東階段から避難誘導します
- ✓ 歩いて避難できない方
担架にて東階段から搬送して避難します

5

当院建物について

当院は築40年を超えておりますが、当初は5階建ての予定で建設され、4,5階は増築する予定でございました。従いまして、建物自体の基盤はしっかりしており、練馬区による阪神淡路大震災後の建物診断でも優良との評価を受けております。しかしながら、予想をはるかに上回る災害が起きた場合は一部倒壊する可能性もあります。

9

一時避難場所にて

- ✓ 患者様の応急処置をします
気分の悪い方、出血している方の処置をします。
- ✓ 当院の被災状況を説明します
次回透析の可否、患者様との連絡手段等の説明をします

6

揺れが収まったら

- ✓ ベッドから動かないで下さい
- ✓ 回路を抜かないでください

揺れが収まり次第スタッフが状況確認し対処します

病院長の判断により

- ✓ 透析続行
- ✓ 返血して透析終了
- ✓ 返血しないで透析終了 の、いずれかの処置をとります

ちなみに、3.11 当院は震度5弱の揺れの中、午後の透析を施行中でした。病院長の判断により、透析終了を希望される患者様には返血の指示が出ましたが、皆さん最後まで透析をされました。

外出中に被災した場合

いて、東海病院の状況を確認する。
* 避難所は平時に確認しておきましょう。
* 避難所から人工透析を受けるよう指示を受けた病院への通院は区or都が考えます。

① 自宅に戻ることが可能な場合は前頁「自宅内にて被災した場合」と同様。
② 繁華街等にいた場合、近くの病院・企業の診療所・役所、保健所等に行くことが可能であれば向かう。また、区の避難所に避難する。さらに、自身が人工透析が必要な患者であることを申告し、指示を待つ。

東海病院の状況を「災害伝言ダイヤル」で確認する

○ 一般有線電話でも可能ですが、災害時は有線電話の方がつながりやすいと言われています。

手順

- ① 「171」をダイヤルする。
- ② 音声ガイダンスが流れたら、指示に従い「2」をダイヤルする。
- ③ ガイダンスに従い、東海病院の電話番号「03-3999-1131」をダイヤルする。
- ④ ガイダンスに従い、「1#」をダイヤル。
- ⑤ 病院で録音した音声流れる

自家発電装置概要

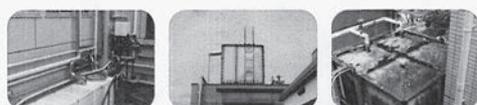
三菱電機株式会社 PG100PY

- 出力 85kVA
- 始動時間 10秒以内
- 燃料 軽油
- 燃料タンク 85L
- 外部燃料タンク 200L
- 連続運転 11.4H (25L/h)~22.8H(12.5L/h)
 定格負荷時 50%負荷時

透析続行・終了の基準



耐震仕様貯水タンク



RO排水槽 屋上受水槽 地上受水槽

職員の役割分担

看護師長・技士長は以下の業務を遂行するために職員の役割分担を決める

- 地震の被害状況をリサーチ、特にライフライン・交通機関・電話・インターネットの状況
- 施設の被害状況を確認、特に貯水槽と受水槽及び院内配管
- 支援透析の検討

練馬区透析施設連絡協議会(NDCC)

- 技士分科会として災害時に迅速な対応ができるように、各施設災害時の対応を共有するため、身近な問題の情報交換の場として平成24年4月12日に設立
- 施設一覧
 - 東海病院
 - 順天堂大学医学部付属 練馬病院
 - 腎クリニック高野台
 - 優人クリニック
 - 優人大泉学園クリニック
 - 練馬高野台クリニック
 - 大泉学園クリニック
 - 練馬光が丘病院
 - 練馬桜台クリニック
 - 練馬中央診療所
 - 高松病院

地震発生時の職員集合基準

震度4以下	集合の必要なし
震度5弱~5強	管理棟・防災担当は施設に集合する 管理棟は支援透析の可否を協議し半日以内に意思表明する 被災施設に支援透析を行う事が決まったら、全職員が集合するよう連絡をする 支援透析依頼を待つ、あるいは自ら施設にアクセスする
震度6弱以上	全職員が施設に集合 自分と家族及び近隣の人が被災して負傷を負っている場合、そちらを優先する 周りに負傷者がいない場合、あるいは援助が終了したら施設へ集合する 交通機関の大半は止まっているので、徒歩・自転車・バイクで出向く

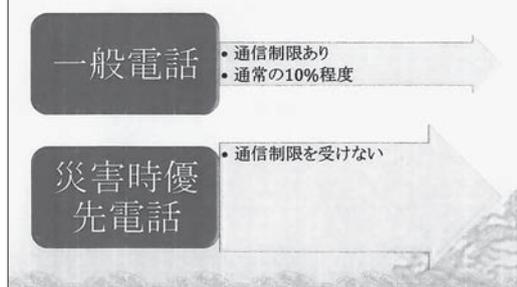
自分の通院経路、送迎手段の確認をする

○現在、東海病院に通院する患者さんのうち、自動車送迎をしている方は約60名おり、家族や介護人に送迎されている方は約25名という状況です。したがって、他の患者さんは徒歩、自転車、自家用車等を用い通院しており、災害時には自分の通院手段、経路を自ら確保しなければなりません。

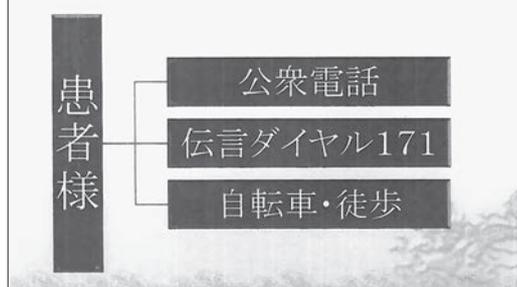
災害が起きた場合に想定される問題

- ① 徒歩通院の方：障害物を乗り越える体力が大切です。
- ② 自転車通院の方：自転車が使えない場合を想定して、徒歩に変えてください。
- ③ 自動車通院の方：自動車は全く使えません。
- ④ 電車通院の方：交通機関が動くまで使えません。
- ⑤ ヘルパー送迎の方：ヘルパーさんの訪問は期待できません。
- ⑥ 家族送迎の方：自宅内の状況によりますが、比較的送迎は可能と思われれます。
- ⑦ 自動車送迎の方：自動車は全く使えません。
- ⑧ 避難所の入所の方：避難所には区主導のバス等の手配があるので、通院は可能となります。

災害時通信イメージ



患者様との連絡方法 患者様⇒病院への問い合わせ



災害時優先電話

- 災害時優先電話は、「発信」が「優先」されます。災害等で電話が混み合うと、発信規制や接続規制といった通信制限(大規模災害時は約90%以上の制限が行われることがあります)により、通常の電話は被災地からの発信や被災地への接続は制限されますが、優先電話はこうした制限を受けずに発信や接続を行うことができます。

*災害時幹線道路は交通規制が行われ、救急車両等の許可を受けた車両しか通行できなくなってしまう。

*ヘルパーや自動車の運転手の方々の確保もまた、被災者でするので困難とされます。

*自力通院の方は、自宅周辺の患者の方々と連絡を取り合い、通院経路を確保してください。送迎自動車等をご利用の方は現在区が主導で送迎団体と調整を図っているとあります。

近隣患者同士との

連絡について

○プライバシーの問題があるため、患者さん同士が親しくならないとお互いの住所はわか

りません。

「ひまわり会」は会員の了解を得たうえで、会員の住所の記載された地図を用いてブロック別の緊急連絡網を作成しようと考えています。

行政(都・区)および

医療側の対策の現状

災害が発生した時の
対応等について

①透析医療機関

(1) 透析医療機関は透析の可否や被災状況について、災害時情報送信票の項目を参考に、メール等で都内ネットワーク事務局に

速やかに連絡する。

(2) また、日本透析医会ネットワークの災害時情報送信ページにも入力・送信する。

②区市町村

(1) 区市町村は東京都福祉保健局や各医師会からの情報をもとに、避難所等における透析患者やその家族への情報提供を行う。

③練馬区

(1) 区内医療機関との連絡調整を行い、医療機関への具体的対応の指示を行う。

(2) 送迎団体との打ち合わせ、意見交換、具体策の立案を行う。

(3) 患者団体(練馬腎ネットワーク)との打ち合わせを行い、患者側の意見を聴取する。

(4) 11月に行われる、医療救護所訓練を計画する。

透析医療機関と透析患者間の

連絡について

①透析医療機関は透析可否等について自身の施設に係る透析患者に連絡する。

②透析患者は出来る限り通院している透析医療機関に連絡して状況等を報告し、必要な情報を得る。通院先の医療機関が透析不可能な場合は、受け入れ先医療機関や受診方法等の指示を受ける。

③透析患者は医療救護所や避難所にいる場合、医師や管理者に透析が必要であることを伝え、また通院先との連絡状況を伝えるとともに災害時透析カードを提示する。

都議会ヒアリング 議事録

平成26年9月4日(木)
10:30~15:40

【参加者】藤田、榊原、板橋、吉澤、
田崎、坂本(各理事)

1. ヒアリングの実施及び要旨

ヒアリングに於ける、説明時間の短さを考慮し、東腎協論旨の一貫性保持のため説明者は榊原理事にお願いした。従って7政党の議員及び議員団すべてに対し、一貫した説明をすることができた。尚、細部における説明や議員側からの質問に対しての応答には出席理事がその都度対応した。

2. ヒアリング順番及び時間割

- i 都議会みんなの党(30分)参加者 議員1名
- ii 都議会公明党(30分)参加者 議員12名
- iii 都議会結いと維新(30分)参加者 議員1名
- iv 都議会生活者ネットワーク(30分)参加者 議員1名
- v 日本共産党東京都議会議員団(40分)参加者 議員2名+事務局2名
- vi 都議会民主党(20分)参加者 議員15名
- vii 都議会自民党(20分)参加者 議員30名以上

3. 東腎協からの説明要旨

「2015年度都庁予算要請項目」の8項目記載文書を事前に渡してあり、この項目のうち4項目を説明した。以下の通り

- ①各種医療制度等の維持継続について
- ②CKD(慢性腎臓病)への取



①都議会みんなの党②都議会公明党③都議会結いと維新④都議会生活者ネットワーク⑤日本共産党東京都議団⑥都議会民主党⑦都議会自民党

り組み推進について

③要介護透析者への支援強化について

④災害対策の強化について

4. 議員及び議員団側の反応

ヒアリング時間が短かったり、議員団が多かったりといった要因の為に、議員側からの反応は十分なものとは言えなかった。しかしながら、議員1人で対応してくれた党の方には、自分の意見・質問を具体的にして下さり理解を深めて下さったと思われる。以下順番に反応を記す。

i 都議会みんなの党(塩村議員)

説明を丁寧に聞き、災害対策の都の対策の不足している部分に興味を持ってくれた。

ii 日本共産党東京都議会議員団(大山議員)

弱者に対する心配りが感じられた。災害時に透析難民や患者会以外の患者に対する安全確保に関心があった。

iii 都議会結いと維新(石川議員)

議員が稲城市長であった時の

経験から、行政サイドから見た問題点を把握しており透析患者の状況も理解しているようだった。

iv 都議会生活者ネットワーク(小松議員)

ご両親共に透析患者であったので(共に故人)患者の体のことを良く理解していた。やはり、災害時の都の対策と患者のそれに対する対応に興味を持っていた。

v 都議会公明党(議員団)

災害対策として、東京湾に病院船を浮かべることを検討している旨の説明があった。ただ病院船は災害時の傷病者全員を対象とするものである。

vi 都議会民主党(議員団)

当方からの説明で終了。何の質問もなし。

vii 都議会自民党(議員団)

説明の後、透析患者の中で終末は病院が良いか自宅が良いと言う方がいますか、と言う質問が出た。これに対し、藤田会長と榊原理事が現状その様な希望が出せる状態ではないことを説明した。

リレー エッセイ

母も35歳で腎不全で死亡

私の母は昭和26年35歳で亡くなりました。死因は腎不全です。当時3歳だった私は何も記憶していませんが、人工透析も確立しておらずたとえ確立していても我が家の経済状態ではとても治療できなかったと思います。

そういうこともあってか私自身が20年ほど前、IgA腎症と診断されたときあまり驚きはありませんでした。進行すればいずれ人工透析になるということもあまり実感はなく、ただ段々からだが大儀になるだろうという予感はありませんでした。

できる時にできることをしなくては

インテリア・プランナーを
目指して大学へ

それまで結婚もせず、仕事とお稽古事と好きな本を読むことに明け暮れていましたが、40歳半ばを過ぎても勉強できることと考えてインテリア・コーディネーターの講座を受講しました。しかし内容に飽き足らず、もつときちんと勉強したいと大学の建築学科の3年に編入学しました。

やりたかったことを勉強するのはとても楽しく、仕事が終わってから夜9時まで大学に通い、年下の友人もでき食事会などを計画し

たり有意義な2年間でした。4年生の終わりに夜間にも大学院の授業が開設されることを知り進学しました。このころからクレアチニン値が上がり始め、修士論文の仕上げのころは集中力がかなり衰えたのか執筆するのがつらかったです。何度か行つた欧州旅行も最後のほうは記憶があいまいです。

ついに尿毒症から透析へ

11年前クレアチニン値は15を超えとうとう尿毒症が出て透析を導入しました。透析導入となっても健常者と変わらないと思いたくフルタイムのアルバイトをしまし

たが最初の夏は苦しかったです。その後、友人から仕事を依頼され、それなりに働けるとわかりました。体調の回復した今は所属する教会のお手伝いをしたり、美術展やコンサートにも行きます。また海外旅行も年に1、2回行っています。

6、7年前から患者会にかかわり始め会長を務めて5年目になります。今年の3月、中南部ブロックから、理事に推選されました。8月末からは東腎協事務局のお手伝いも始めました。

このごろ若くして亡くなった母のことを考えることが多くなりました。同じ病気をしても透析を受け好きなことをして生きていられる自分に引き換え、透析がなく、あっても経済的理由で受けられなかった方たちの時代。その状況を切り開いてくれた先人たちの功績を引き継いでいかなくてはと思います。そのためにも「できる時にできることをしなくては」と考え

長井久美子さん



透析11年 (66歳)

NPO東腎協オプザーバー
にこたま会



私達の病院

酒井 豊

(清湘会記念病院)

私達が透析治療をしているクリニックは系列で5箇所あり毎年、学術講演会、料理講習会等を病院と各クリニック腎友会が共催して行っています。何れも我々患者にとって、有難い内容になっています。

特に学術講演会はスタッフと患者関係で300人以上になる時もあり、講師の先生への依頼や会場の手配等病院のスタッフにご苦労頂いております。

この学術講演会は昭和62年から数えまして今年で26回を迎えています。

患者会にとっては、スタッフに

は心から感謝し敬意を払う気持ちでいっぱいです。

特に今年の講演会では耳の痛い内容でしたが実に分かり易く、治療に向かう姿勢を正す気が初心に帰る内容になっていました。

内容としては定められた、増加血液検査の結果で優等生とされる患者と、スタッフの指導を受けてしまう様な事を受けている患者との対比で、指導を受けている患者がこれ位損をしてしまうというものでした。(損をする者は健康維持が極めて悪くなるということです。)

その中で、今の透析日程の4時間透析を5時間透析に変更した場合、4時間透析を1とすると5時



清湘会学術講演会

間透析は0・58寿命が延びると考えられると言う内容には驚きました。また、週3回透析を一日置きにすると、これまた同じ様な数字が示されるとの内容でした。

研究関連会議が行われていて、良い事は改善されて行く事になるということでした。

透析治療が無理なく楽に行われて行く様になって行くことを心から望みまして、クリニックグループの紹介をさせて頂きました。

新小岩クリニック

「友の会」バス旅行

田崎 勲

(新小岩クリニック友の会)

新小岩クリニック「友の会」のバス旅行は、私にとって素晴らしい思い出の残る旅行でした。

ビンゴゲームでは豪華な景品目当てに子供のようになり笑ったり喜んでりと楽しみ、アウトレットでは買い物。食事は海鮮類、お肉の食べ放題。どれも美味しいものばかりで食べ過ぎてしまうほどでした。他のみなさんも満足していたと思います。

その後も「道の駅」で買い物、「海ほたる」の見学を最後にバス旅行



新小岩「友の会」バス旅行

は終了しましたが、看護師さんに同行してもらえたので、とても心強く安心してバス旅行を楽しめました。

また機会がありましたら参加したいと思っています。

「災害対策」のテーマで

勉強会を開催

坂本 悦男

(東海病院ひまわり会)

7月13日と9月14日、テーマを分けた勉強会を開催。東海病院ひまわり会は旅行や勉強会やら懇親会、と三か月に一回のペースで会員の皆さんに声をかけて実施しています。

一生付き合う腎臓病だけに、イベントを通じてのコミュニケーションの密なる関係を深くする事が出来るのは本当に有難いと思います。

さて、7月13日の勉強会は三時間、午後1時から4時まで、題は二つ。第一は「検査項目に現れる数字の意味」。第二は「夏の腎臓病食を食べてみよう」というもの。

月に二回血液検査をしてもらい、カリウムだリンだのと血中濃度を見て、普段の食生活や生活態度を反省させられるわけですが、今一度それら指標の意味するものと、他の病気の原因となるものを篠原看護師から冷静なる説明をいただ



東海病院「ひまわり会」勉強会

き、ただただ生活態度を反省。

「夏の腎臓病食を食べてみよう」は「NPOさんさん会」という、東北被災地で給食事業を行っている団体の、腎臓病患者向けレトルト食品を、東海病院の栄養士さんの解説の後に試食した。試食後、一週間分の試験購入した方もおり、普段の食メニューに頭を悩ませている方々の多さを実感。

9月14日の勉強会はこれも三時間、第一のテーマは患者の病気体験の現状説明と意見交換。第二のテーマは、「災害時パニックにならないために」という、我々自身のための問題意識の持ち方。「病院」「行政（練馬区）」からは、いま行っている対策と課題の説明を

してもらった。特に今回練馬区の地域医療課の本橋係長が出席して、区が主導で行っている対策の説明と、災害時に透析患者にとって最も重要な①病院と患者自身との情報交換、②患者の通院手段の確保という二点の課題についての話をいただいた。（本誌5頁参照）

我々自身の問題なので、出席者も真剣に話を聞きながらうなずいたり、首を傾げたり。質問も災害時の透析可能人数や予備の薬の量

など、具体的なものや通信手段の実際の可能性など身近な点に集中した。勿論ここで解決はしないが自分の身は自分で考え行動することが大切であることは認識できたようです。行政は災害時に大きな観点から、安全や安心を確保するような対策をたてていますが、通院確保や情報交換などは患者会で具体的に煮詰めないと実現しないと思います。病院との話し合いがポイントとなるような気がします。

恒例の日帰り旅行

増子 隆

（清湘会深川橋クリニク腎友会）

7月13日、毎年行われている日帰り旅行を行いました。

今年にはサロンバスから銚子電鉄に乗り換えて地球が丸く見える丘展望館、太平洋を一望出来、古く由緒ある犬吠埼きょうけい館で温泉に入り懐石料理に舌鼓、カラオケ、一休みして、ヤマサ醤油工場見学と盛り沢山の魅力の有る旅行会になりました。好評だったのは、濡れ煎餅の焼き体験、新鮮な海産物のウオツセ21でのお買物でした。今年と同じ清湘会菊川クリニク、聖クリニクの相乗りも有り



清湘会「日帰り旅行」

和気あいあいの楽しい旅行会になりました。

増子会長さん談

この日帰りバス旅行は、定例行事として毎年総会で今年は何処にしようかいつ頃が良いかと行き先と時期を相談して実施しています。気心の知れた病院仲間と和気あいあいと話し飲み歌い会員の楽しみにしている行事です。病院のご理解を頂きスタッフの同行もあり、安心して、はめをはずして、楽しい一日を過ごすことができます。これからも創意工夫して続けて行きたいと思えます。旅行会だよりました。

とうじんきょう 活動の まど

第8回全腎協 全国青年会議

青年部部长 宿野部武志

平成26年8月30日～31日(土日)
第8回全腎協全国青年会議が東京で行われました。東京からは宿野部部长と永見副部长が参加しました。また、全国からは青年部の代表など59名が参加(県代表37名、オプザーバー8名、実行委員7名、全腎協理事5名、事務局2名)。(1日目)

昨年に学習した問題解決の手法を利用して青年部の抱える真の問題点でもある「新しいメンバーが入会しない」という問題を検証し

て解決策を考えた。

(2日目)

前日に議論した解決策を自県に当てはめて具体的なアクションプランを検討。

今回は次年度に青年部長着任予定の永見副部长に、引き継ぎの一环としてオプザーバーとして参加してもらいました。

本会議に出席し、PDCAの活用についてはもちろんですが、他県と青年部運営に関する情報交換・交流が図れ、有意義なものとなりました。

今後も他県との交流・繋がりを継続していくことが大切だと再確認をいたしました。

また、改めて東腎協青年部の活動につき反省も含めて振り返り、リスタートのつもりで立て直していきたいと思います。

関東ブロック青年交流会

青年部副部长 永見 明子

平成26年7月26日～27日(土日)
日光霧降の大江戸温泉物語「レス



全腎協関東ブロック会議 in 山梨

トランまこ」で関東ブロック青年交流会が行われました。東京からは宿野部武志部長と、永見明子副部长が参加しました。主な内容は、
○7月26日 開催県(栃木)スタッフ全員の挨拶の後全体会議
(1) 青年部について：昨年度と今年度の活動について各都県から報告。インターネットを使用した青年部員の獲得活動について議論。
(2) 合併症について：特に副甲状腺機能亢進症で手術をした人の体験談をメインに。
(3) 災害について：塩分量を把握するため、30グラムの塩から5グラムと9グラムをとる作業。災害時に配られると思われる食品

の試食ならびに災害時に役に立つグッズを手にとってみる。
交流会(食事会)

○7月27日 朝食後、日光東照宮参詣：身体障害者手帳を利用すると参拝料が割引になる代わりに「鳴龍」が参拝できないとのこと
で、一般料金にて参詣
考察・感想

インターネットによる青年部の部員勧誘について、今までになく否定的な意見が多くみられたことに対して驚きもあったが、東腎協青年部のプログラムの更新頻度や閲覧件数等を鑑みるに、必ずしも肯定的にとらえることのできない部分があると感じた。

北部ブロック運営委員会

坂本悦男(東海病院)

8月31日、午後1時半より4時まで、出席者9名(運営委員4名、理事オプザーバー2名、理事3名)で開催された。

議事は(1)北部ブロック正会員会議の開催日時の決定、(2)北部ブロック活動の方向及び強化

が主たるものである。

運営委員会は榊原ブロック長の頸椎周りの手術による経過報告と、その間皆様にご心配していただいたことに対する御礼の言葉で始まった。

各ブロックが東腎協の柱になるという大きな方針の中で、北部ブロックは何を主題として活動を行うかが最も大きな問題であり、共通のテーマでどのように組織としての強化も出来るのが課題として提示された。

ブロック、七区を対象にした講演会などの意見が出され、過去の話などが出たりした。しかし、今一つ具体的でなく、共通の目標足りえない。

練馬区で行っている、四患者団体、練馬腎患者ネットワークと練馬区との協議、「災害対策」の件を提案し作成した「災害時にパニックにならない為に」というリーフレットを全員に配布し、ブロック内七区で同様の活動をしてみたい、と意見が述べられた。

現在、災害対策は東京都の「災害対策マニュアル」が今年の四月に更新され、機関誌「とうじんきょう」七月号に掲載されたが、自

分たち患者の身の回りの状況を想定した具体的な方策は全く示されていない。

そこで、練馬区腎患者ネットワークは災害時の我々の状況を想定して、患者自身の身の処し方を考えたものである。北部ブロックの患者会も同様に考えてみたらどうだろうかと言うのが運営委員会での方向となった。11月9日に北部ブロック正会員会議の開催を決め、主要議題が災害対策ということになった。

第75回全腎協 関東ブロック会議 in 山梨

活動日時：7月19～20日（土・日）

活動場所：湯村ホテル（甲府市湯村）

参加者：戸倉、岸里、榊原、吉澤

他全体で44名。

第1日目

はじめに開催県山梨の中島会長より参加者に歓迎の挨拶があり、続いて第1日目の議題、全腎協・金子常務理事より全腎協報告、第3回関東ブロック組織対策部会報告を前回開催県の清水会長（群馬）

より報告があった。今回は埼玉県主催で青年部関連議題とした。その後各県の活動報告が発表され、各提案議題が討議された。

○神奈川県腎協から「重度医療費助成制度」助成廃止についての提案、県内33市町村のうち約16市町村は助成の廃止がきまった。
○千腎協から「重度心身障害者医療費制度」について、平成27年度より窓口無料制度が実施される事になっている。各県の現状が知りたい。

○山梨県腎協から「重度障害者医療費制度」改定により、現物給付から償還払いへ県の事業仕分けで変更になった。厚労省が窓口無料

化を行っていない県市町村にはペナルティを課してきた。県と折衝した結果、自動還元方式が実施される事になった。

○長野県腎協から「臓器移植啓発活動」について、キャンペーン開催規模全県30ヶ所以上500人規模で約93万円の予算で開催。他県の実情、行政の支援等あれば参考にしたい。

第2日目

○千腎協から「大会への参加者の減少」について会員割合が減っている現状、NPOになりよりセレモニ一的になっている。

○栃木県腎協から「賛助会員の会費使用」について、昨年からの財源に苦慮している現状から賛助会員の募集をはじめた。

○東腎協から「各都県行政部署の災害時に透析医療を確保する為の対策」について戸倉副会長より発言、県内の透析患者の透析医療を確保するため、県外の自治体へ支援要請する場合の対策、県外の透析患者の透析医療を確保するため、県内に受け入れ要請があった場合の対策について、各県の意見を聞いた。

○神奈川県腎協から「2025年



関東ブロック青年交流会

を見据えた医療・福祉制度への取り組み」について、現在の介護施設利用者の状況から考えて療養型介護施設・有料老人ホーム・認知症支援施設等の不足が考えられ、医療・介護・住まい・生活支援の確保が問題視され、それに備えた対策を講じていきたい。

○群腎協から「活動報告書の提出について」見直しを要望、毎月県腎協と全腎協担当理事に送付している。全腎協理事会・関東ブロック等依頼のあったとき以外は毎月各県同士の送付は中止にして欲しい。

○山梨県腎協から「関東ブロック災害対策部会開催」について、第3回関東ブロック組織部会でも話し合われた災害対策部会を開催して頂きたい。災害対策部会については、第1回開催地候補場所は全腎協事務局で幹事県は山梨県で調整することとした。

○長野県腎協から「国会請願署名」について、ここ数年署名数が伸び悩んでいる現状、これ以上減らさない為の手立てを講じていく必要がある。全腎協としての取り組みを明確に示すとともに対策を打つ必要がある。

第34回臓器移植普及推進キャンペーン

台風18号直撃で一部中止に

2014年
10月5日(日)

第34回臓器移植普及キャンペーンは台風18号の東京直撃により、第一会場（上野）は続行中断、第二会場（立川）は中止となりました。

第一会場の上野では、集まった会員さんの健康、体調を考慮して帰っていただき、東腎協理事と東京都の職員とで約1000枚のティッシュとチラシを配布しました。

残った4000枚は江戸川地域腎友会や他の地域腎友会に活用していただくことになりました。なお、12日(日)は開催いたしません。

第二会場の立川は、テントも用意してなかったため、朝7時の段階で中止決定。連絡がつかないでよりお詫び申し上げます。



(立川) 中止にはなったが…。



(上野) 連絡をとりあう参加者



(上野) テントの中で待機



(上野) 雨の中集まった会員・役員のみなさん

私と東腎協 ⑤



高藤あつ子さん(71)

腎内科クリニック世田谷 (透析42年)

「透析は生きて半年」と
言われていた時代から、
現在の透析へ

19歳で発病した糸球体腎炎も、10年の治療の甲斐もなく、昭和47年透析導入になりました。

当時は透析器も台数が少なく、透析という言葉すら知られていない時代でした。効率は非常に悪く、水も抜けず、患者の顔色はコーヒー色をしていて、毎日のように患者が亡くなっていききました。苦しみと痛みばかりの当時の透析は今思い出そうにも記憶がありません。その後、十数種類の合併症を抱え、大小合わせると26回の手術を経て、6カ月の命と言われながら、42年もの長き人生を生かされるとは全く想定外の事で自分でも驚くばかりで

す。

今は「高血流長時間透析」を強力に推奨されている「腎内科クリニック世田谷」に3年前からお世話になっています。

透析方法は、オンラインHDF総補液量65リットル、前希釈、透析時間(40年間5時間)血流量300、透析液カーボスター、針16G、高ナトリウムK/T/V2・1

オンラインHDFをして大きく変わったことは、何十年も苦しんだ口渴がなくなり食事もほとんど制限がなくなったこと。二つ目は全身の皮膚が劇的にきれいになったことです。

楽しくて仕方がなかった

青春時代

生まれは長野県東御市、浅間山を背に育ちました。昔から音楽好きで21歳の時にギター

を身につけ、身長175センチの自分に合わせた大きな女性ばかり集めて、ラテンバンドを結成して演奏活動をしました。腕は少々下手でも、何しろ二十歳そこそこの若さ全開のバンドですから、シヨッキングピンクの布を体に巻きつけただけの様な格好でボンゴを叩き、得意満面、怖さ知らずで楽しくて仕方ない時代でした。今思えば冷や汗ものです。その後、一人で弾き語りをしている時に透析導入になりました。

ぜひ、患者会に入会を

何もなくても国からほぼ自己負担の無い透析の恩恵を当たり前のように思っている今の新しい患者さん達も多いのではないのでしょうか?患者会が有ることや、東腎協という組織が日夜努力しておられる事をご存知ですか?透析導入年齢も上がって、会報すら受け取って頂けないと聞きますが、国会請願やキャンペーン等には出席できなくても、出来るだけ患者会に入って頂き、透析医療の減額傾向が心配される現実に目を向けて頂きたいのです。

いろいろと事情はおありかと思いますが、金額の大小ではなく、せめて「寄付」という形で患者会にご参加いただくことが出来れば大変うれしく思います。

私と東腎協 ⑥



蒲原 栄子さん (60)

大田病院腎友会 (透析21年)

◆ 妊娠中毒症という、つらい病名

昭和47年10月に結婚して、翌年5月に妊娠しました。3か月たった頃より、血圧が高く、タンパク尿、むくみの症状も出てきたので、食事、身体に気をつけていましたが良くなり、妊娠中毒症という病名がついてしまい、本当に辛かったこと今でも忘れません。

何とか無事に長女を出産し、病院通いはしましたが、子供がまだ小さく、思うように自分自身の身体まで気を付ける余裕がありませんでした。その様な生活が続いたために、妊娠中毒は一向に良くなりませんでした。

そうこうしている時に次女が生まれて、やはり長女の時と同じく妊娠中毒症になってしまいました。次女も無事出産しました。

私は結婚して妊娠するまでは、健康には自

信がありました。身体のことと子育ては負担があったと思います。女性が子供を産むのは自然なことと思いましたが、そうでないことを実感しました。

◆ 子育てと就職：身体を酷使して

私は結婚と同時に神奈川県相模原に移り住みましたが、出産と同時に大森の母のところへ身を寄せました。また当時子供が中学生と小学生だったので遊んではいられず、仕事を探していました。母の知り合いの方から銀行の管理人を募集しているとの情報が入り、即仕事が出来るとなりました。

その頃は私も若かったこともあり、無我夢中で働いていると、職場の検診で血圧が高く、タンパク尿とむくみがでました。その時、現在通院している大田病院の佐藤幸文先

生から「いずれ透析になりますよ」と言われ、その言葉にショックだったことを今でも鮮明に覚えております。

平成5年7月に入院となり、透析をするためのシャントの作成をしました。そして8月透析導入となったのですが、透析についてはまだ分からないことばかりだったので、これから先の事が全く見え不安でいっぱいでした。でもマイナスの事ばかり考えても仕方なく、これは私の運命と受け止め、少しずつ透析にも慣れてきました。

◆ プラス思考で明るく頑張ります

良かったことは、食事が美味しく体の怠さもなく働けることでした。それから全てプラス思考で考えるようになり、同じ透析をしている仲間の人達とも明るく会話も出来るようになりました。そして、患者会が有ることを聞いたので、すぐ入会して現在では東腎協の正会員と腎友会の役員をしています。

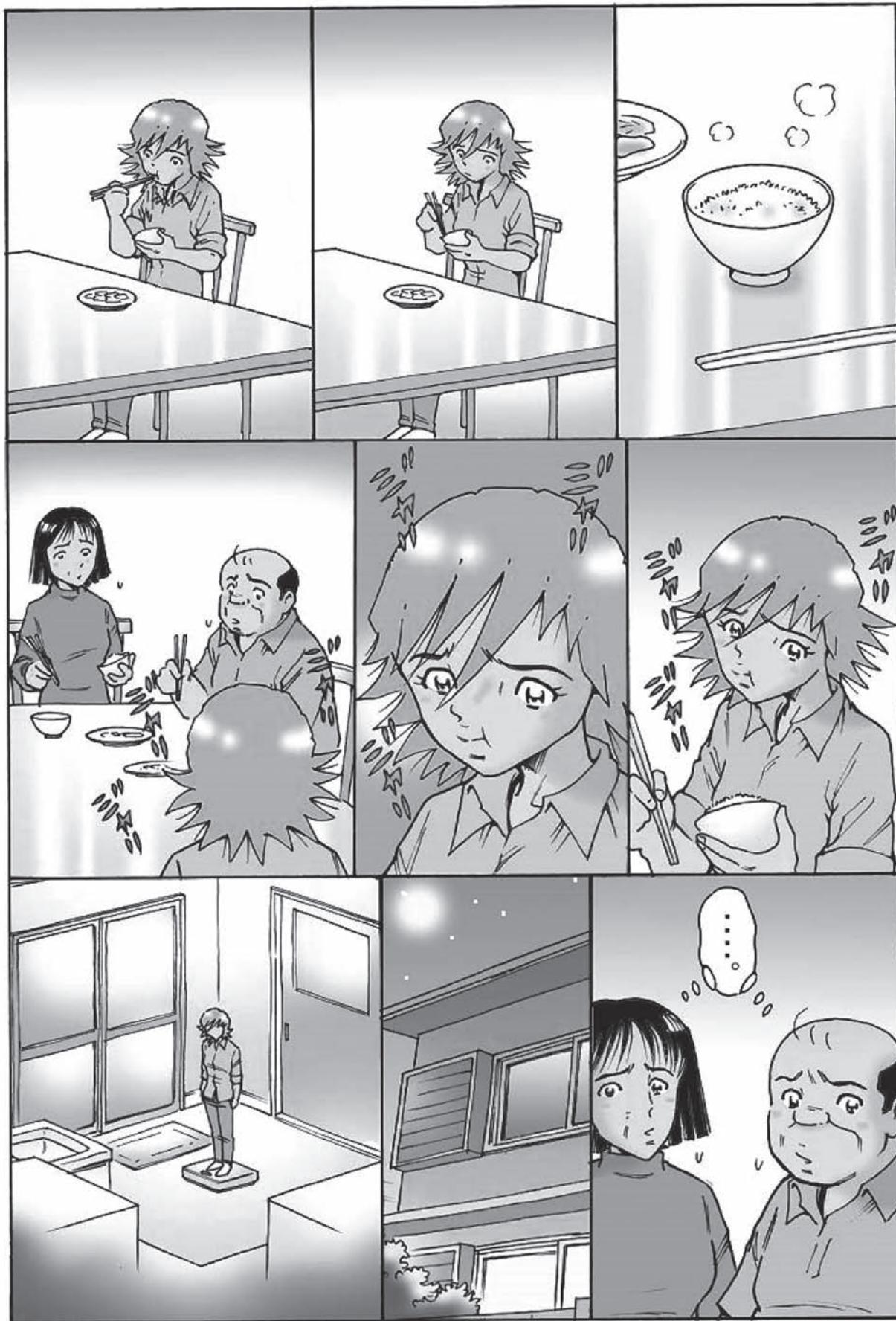
大田病院腎友会の役員も、だんだん高齢化が進み、いろいろな計画をしたいと思いたいが、参加する人が少ないのが現状です。

私たちがこうして安心して透析を受けられるのも、諸先輩の方々の並々ならぬ努力の賜物です。そして病院の師長を始め看護師、技師の方々の暖かい言葉で、辛い透析も乗り越えてきました。これからいつまで元気になれるか分かりませんが、元気なうちは腎友会と東腎協の役員として頑張りたいと思います。



協力 渡辺好徳・渡辺典史





事務局から

ご寄付お礼

扶桑薬品工業（株）

○東京第一支店様（8月～9月）
ご寄付ありがとうございます。

青い鳥葉書（切手） ご寄付一覧

【患者会】

すながわ相互診療所患者会いずみ
太田病院腎友会
南青山内科クリニック・チューリップの会

吉祥寺あさひ腎友会

中野共立病院腎友会・絆の会

【個人会員】

・石山 久美子
・辻 玲子

（10月8日現在まで分、敬称略・順不同）

葉書・切手等は沢山使用しますのでいつでもご寄付受け付けておりますので、今後共よろしくお願ひします。

～ありがとうございました～



事務局冬期休暇のお知らせ

12月27日（土）～2015年1月4日（日）までお休みさせていただきます。新年5日（月）より仕事始めとさせていただきます。

投稿のお願い

編集委員会では会員の皆様からの投稿を随時受け付けています。「なかまのたより」に投稿の方、内容は問いませんので、何でもお寄せください。

表紙の作品募集

機関誌「とうじんきょう」の表紙に、会員の皆さんの作品を掲載いたします。絵画、陶芸、手芸、料理、何でも構いません。

募集時期 随時募集

ご協力をお願い

全腎協・第44次国会請願・署名運動 JPA（日本難病疾病団体協議会）国会請願署名・募金運動

今年も下記の要領で（社）全腎協と日本難病・疾病団体協議会（JPA）の国会請願署名・募金運動に取り組むことになりました。

国会請願署名運動は、会員ひとり一人の意思を直接国会に訴えることができる私たちにとって最も重要な活動のひとつです。昨年度集めていただいた署名は、本年3月に全国で73万7,229筆を第186回通常国会に提出致し、衆・参両議院で採択されました。

同時に行う日本難病疾病団体協議会（JPA）の「総合的難病対策の早期確立を要望する」国会請願署名・募金運動へのご協力も合わせてよろしくお願いいたします。

全腎協署名用紙

JPA 署名用紙

応募方法

出来るだけ作品を写真撮影して、プリントと作品コメント（400字以内）を添えて、郵送してください。

謝礼 採用の際には薄謝（図書券）を呈呈いたします。

編集後記

○今年の夏は連日の猛暑で、会員の皆様におかれましては、体調管理が大変だったと思われませんが如

今後の活動予定

- 10月19日(日) 東部ブロック正会員交流会(江戸川区総合文化センター・和室)
- 10月26日(日) 東腎協第103回理事会(アルカディア市ヶ谷「赤城」5階)
- 11月2日(日) 全腎協関東ブロック組織対策部会(全腎協事務局)
- 11月8日(土) 難病慢性疾患全国フォーラム2014(浅草橋ヒューリックホール)
- 11月8~9(土・日) 全腎協・相談員研修会(東京)
- 11月9日(日) 北部ブロック正会員会議
- 11月22~23(土・日) 全腎協第112回理事会(東京)
- 11月23日(日) 全腎協第55回総会(東京)
- 11月27日(日) 東腎協第104回理事会(C2)
- 12月7日(日) 多摩ブロック正会員会議
- 12月6~7(土・日) 関東ブロック会議in神奈川(横浜研修センター)
- 12月21日(日) 東腎協第105回理事会(C2)
- 12月26日(金) 事務局仕事納め
- 平成27年1月5日(月) 事務局仕事始め
- 1月10~11日(土・日) 全腎協第112回理事会(東京)
- 1月25日(日) 東腎協第106回理事会(C3)
- 2月22日(日) 東腎協第107回理事会(C2)
- 3月7~8日(土・日) 全腎協第113回理事会(東京)
- 3月12日(木) 世界腎臓デー
- 3月15日(日) 第26回腎臓病を考える都民の集い
- 3月19日(木) 全腎協・第44回国会請願(議員会館 場所未定)
- 3月22日(日) 第108回理事会(C2)
- 4月26日(日) 第109回理事会(未定)
- 5月16~17(土・日) 2015年度全国大会in長崎(仮称)

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会 賛助会員入会のお願い

1972年(昭和47年)11月19日、東京都腎臓病協議会(現、特定非営利活動法人東京腎臓病協議会)を結成しました。結成から41年を経過し、透析医療も格段に進歩し、40年を迎えている透析患者さんもいらっしやいます。

その一方で社会保障制度、医療費制度の削減が社会問題となっており、莫大な費用を要する透析医療も安心してはられない状況です。これからも医療機関、各企業、患者団体と結束して活動することが大変重要と考えます。

私どもの「命と暮らし」を守る活動に賛同いただければ是非、賛助会員として団体の活動を支えていただきたく心よりお願い致します。

記

賛助会員会費：個人年額5,000円、団体年額 1口10,000円/1口以上

※年1回名刺広告を機関誌「とうじんきょう」に掲載させていただきます(但し、継続でも初年度1回のみとさせていただきます)。

何お過ごしでしょうか。本年も早いもので国会請願署名の時期が来しました。順次10月より署名用紙を配布致しますのでご協力の方お願い致します。また、今後も色々な催しを開催して参りますのでご参加いただければと思います。

(岸里)

○私が編集長になって早一年。昔取った杵柄とはいえ、一日中パソコンに向かっていると目はチカチカ、腰は痛いし、頭は回らない(これは昔からか...)。六〇半ばの老いを感じる今日この頃です。趣味のスポーツ(卓球やゴルフ)でリフレッシュして、一日でも長く仕事に関われたらと思う次第です。東腎協ではまだまだ若手?です。

(板橋)

○四月に軽部さんが急逝して四日後に初めて事務局を訪れた。すぐさま故人の椅子に座り、使っていたボールペンや電卓やPCをそのままお借りして作業を始め、はや半年が過ぎた。

机の中にはいまだに軽部さんのメモや仕事の痕跡が残されている。「志(こころざし)半ばにして」のフレーズは、まさにこのことを云うのだろう。

(白)

選ばれているのには理由があります。
頼れるコエンザイムQ10・
L-カルニチンサプリ...

新

Q10ペプセル

栄養機能食品(ビタミンE)

キューテン

カラダに♡
とって大切です。

コエンザイム
Q10
60mg*

L-カルニチン
120mg*

ビタミンE
15mg*

でも、加齢と
ともに
不足します。

*配合栄養成分
(2粒当り)

「透析/バンザイ」でおなじみの
山猫先生も
毎日飲んでます!

こんなことで
お困りでは
ありませんか?



倦怠感、血圧低下、息切れ、筋肉のツリなど...

イーホープペプセルがお届けする
基本サプリメントで、確かな栄養補給を!!

目安として、1日に1~6粒程度の
範囲でお召し上がりください。

たくさんの方々にお試しいただくために、お試し価格でご提供をいたします。

お試し
販売価格 **2,800**円

60粒入り1箱当り

★家族
初回1回1箱限り

- 定価5,250円/1箱当り
- 会員特価4,700円/1箱当り
- まとめて2箱なら4,500円/1箱当り
- さらに3箱まとめれば4,300円/1箱当り
- 5箱以上お買い上げは4,200円/1箱当り

★ペプセルシリーズは定価の5%引きで
毎月発送致します。
★全て税、送料込み(離島を除きます)

商品のお求めは

お電話で 受付時間 平日9:00~18:00

フリーダイヤル **0120-266-910**

不老(フロー) Q10(キューテン)

FAXで **078-231-0330**

ネットで <http://www.clubshop.jp/>

イーホープペプセル 〒651-0084 神戸市中央区磯辺通2丁目2番25号 ダイワピュアビル803 平成24年4月より、ネット拠点を神戸に移転いたしました。

事務局雑感

木曾の御嶽山の噴火と犠牲者の多さには驚愕した。噴石や火山ガスの直撃からの回避はほとんど不可能だったと思う。心からお悔やみ申し上げるとともに、今後は入山時の登録義務化、ヘルメット携行や行政への避難所増設を望みたい。

何かと災害の多い日本では、常にリスク感覚を研ぎ澄ます必

「そなえよ常に」

要がある。特に透析者は災害に弱い。被災後数日間は透析なしでもすむ自己管理や通院ルート、連絡網の確保など自助努力に日頃から配慮したい。

「そなえよ常に」は少年時代経験したボースカウトからのスローガンだが今あらためて思いおこしている。

(藤田)

透析と趣味

絵手紙と出逢って十余年、透析もほぼ同年。初めはどちらもよちよち歩きの一年生。失敗も多々ありましたが、透析ではクリニックを日野↓豊田↓日野と仕事の時間の関係で移転しました。どちらも先生初めスタッフの皆様親切にしてください、冗談も飛び交う身内のような関係で、とても楽しく感謝です。



鈴木 喜久代さん
(透析歴11年・73歳)
日野クリニック腎友会

表紙のことば

今は加齢とともに合併症も出てきておりますが、自己管理よろしく、42年頑張った方をお手本に、ポジティブに生き長らえたらと反省しきりの毎日です。

長さんが見にいらして、貰って頂

平成二十六年九月吉日

いのち
生命をつなぐ
贈りものってなあに？



腎臓移植について

移植体験者の声を
携帯やパソコンで
ご覧になれます



URL: <http://zjk.or.jp>



わたしは、いのちの大切さや、いのちをつなぐというのを、友だちや家族でもっと話し合ってみたいとおもいます。

●一般社団法人全国腎臓病協議会(略称:全腎協)とは

すべての腎臓病患者の医療と生活の向上を目的として、1971年に結成した腎臓病患者の患者会組織です。現在、全国の会員数は約10万人で、日本最大の患者会といわれています。全腎協では、腎臓病患者の療養生活の向上につとめるとともに、移植推進や腎臓病予防などの社会啓発活動を行っています。

- | | | |
|----------------|-------------------|------------------|
| ●あなたの地域の患者会 | 長野県腎臓病患者連絡協議会 | 島根県腎友会 |
| 北海道腎臓病患者連絡協議会 | 新潟県腎臓病患者友の会 | NPO岡山県腎臓病協議会 |
| 青森県腎臓病患者連絡協議会 | NPO富山県腎友会 | NPO広島県腎友会 |
| 岩手県腎臓病の会 | 福井県腎友会 | NPO山口県腎友会 |
| 宮城県腎臓病患者連絡協議会 | 石川県腎友会 | NPO徳島県腎臓病協議会 |
| 秋田県腎臓病患者連絡協議会 | NPO岐阜県腎臓病協議会 | 一般社団法人 香川県腎臓病協議会 |
| NPO山形県腎友会 | 静岡県腎友会 | 愛媛県腎臓病患者連絡協議会 |
| 福島県腎臓病協議会 | 一般社団法人 愛知県腎臓病協議会 | 高知県腎臓病患者友の会 |
| 茨城県腎臓病患者連絡協議会 | 三重県腎友会 | 福岡県腎臓病患者連絡協議会 |
| 栃木県腎臓病患者友の会 | 公益社団法人 滋賀県腎臓病福祉協会 | NPO佐賀県腎臓病協議会 |
| 群馬県腎臓病患者連絡協議会 | 京都府腎臓病患者協議会 | NPO長崎県腎臓病患者連絡協議会 |
| NPO埼玉県腎臓病患者友の会 | NPO大阪府腎臓病患者協議会 | 熊本県腎臓病患者連絡協議会 |
| NPO千葉県腎臓病協議会 | NPO兵庫県腎友会 | 大分県腎臓病患者協議会 |
| NPO東京腎臓病協議会 | NPO奈良県腎友会 | 宮崎県腎臓病患者連絡協議会 |
| NPO神奈川県腎友会 | NPO和歌山県腎友会 | NPO鹿児島県腎臓病協議会 |
| 山梨県腎臓病協議会 | 鳥取県腎友会 | 一般社団法人 沖縄県腎臓病協議会 |

発行 一般社団法人 全国腎臓病協議会
〒170-0002 東京都豊島区東横1-20-9 東横ファーストビル3F
Tel 03-5395-2631 / Fax 03-5395-2831 E-mail: info@zjk.or.jp
製作 福岡県腎臓病患者連絡協議会
〒810-0044 福岡市中央区六本松1-2-16 Tel. 092-713-8020

でもね、元気になる方法があるの。それは移植という治療なの。

移植でしか助からない命があります。自分が最後の時を迎えたときに、誰かを救うことができます。それが臓器提供、いのちの贈りものです。

献腎移植の流れ

臓器の提供とは？

- 脳死後に提供できる臓器: 心臓・肺・肝臓、腎臓・脾臓、小腸・眼球
- 心臓が停止した死後に提供できる臓器: 腎臓・脾臓、眼球

臓器提供意思表示ってどんなこと？

健康保険証の裏面や意思表示カードに記載欄があります。

私は看護師なので答える事ができましたが、腎臓っていうソラマメの形をした臓器があるの。腹あたりに左右ひとつずつあって、握りこぶしほどの大きさよ。おしっこを作って身体にたまった老廃物を体の外に出す。大事な働きをしているのよ。

透析とは、人工腎臓を使って体に入った老廃物を取り出すことを言うのよ。

透析治療は、食事の制限が厳しくて、聞くわ。

透析のあとは、くったりする日もあるそうよ。

いよいよ!透析患者様専用の高齢者住宅が 葉山の丘に11月オープン!!

同一建物内に **透析クリニックとデイサービスを併設**

頭金・入居一時金 **0円**

月額
利用料 **138,000円**

月額利用料には管理費、共益費、食費、家賃相当が含まれます。
※介護保険の自己負担額、介護用品、医療費、その他個人に係る費用は別途負担となります。

富士山、湘南の海が見渡せる
葉山の丘。

医療・介護は「**介護透析**」で
経験を積んだ清光会が
全面的にサポート。

入居者の皆様に安心と安全を提供いたします。

「入居後に医療が必要になったら?」「入居後に手厚い介護が必要になったら?」

ご安心ください、医療法人社団 清光会のセンペル逗子クリニック、
介護老人保健施設セアラ逗子が受け皿となり、きめ細かくサポートいたします。

葉山湘南国際村シニアライフセンターの概要

医療面

同一建物内に **透析クリニック併設**
シャント閉塞に対応できる 手術室を完備
さらに専門的な医療が必要になった場合にも、
清光会の医療施設で治療が受けられます。



透析クリニック
●透析ベッド:38床
●X線機器、CT装置完備



手術室
●シャント手術対応可能

介護面

プライバシーを尊重した **全個室(150室)**
デイサービス等の **介護サービス施設併設**
要介護度が高くなった場合、清光会グループが
手厚くサポートいたします。



居室
●部屋数:150室(全個室)
●全室ベッド、トイレ、洗面所、
エアコン、ナースコール完備



デイサービス
●デイサービスセンター、
居宅介護支援事業所併設

逗子清光会グループ 法人本部

入居者様をサポートする清光会の施設

【介護施設】

- 介護老人保健施設セアラ逗子(100床:一般棟55床・認知症専門棟45床)
- セアラ逗子通所リハビリテーション(定員58名)
- 居宅介護支援事務所
- グループホーム(はなもも(定員9名))
- 清光会逗子市地域包括支援センター
- 逗子市池子デイサービスセンター(定員45名)

【医療施設】

- センペル逗子クリニック(入院病床19床)
- センペル逗子クリニック 腎・透析センター(37床)

清光会グループ <http://www.seikokai-zushi.or.jp/>

透析患者様専用有料老人ホーム

葉山湘南国際村シニアライフセンター

ご入居に関するお問い合わせ、ご質問は 医療法人社団清光会 事務局まで

046-873-7141

URL <http://www.seikokai-zushi.or.jp/> E-mail seara@seikokai-zushi.or.jp

【ホームページのお問い合わせフォームもご利用ください】

施設概要 ●名称 住宅型有料老人ホーム 葉山湘南国際村シニアライフセンター ●事業主体 医療法人社団 清光会 ●建物構造 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上5階建 ●敷地面積 9,983.63㎡ ●延床面積 7,064.57㎡

交通のご案内 JR横須賀線「逗子駅」または京浜急行線「新逗子駅」、「汐入駅」よりバスで約20~30分 ●正式なご予約はオープン3か月前より承ります。●お申込みについては随時承りますのでお気軽にお問い合わせください。